

猛暑の候、会員の皆様におかれましては未曾有の災禍とはいえ、一致団結してこの難局に立ち向かわれていることと存じます。

我々福岡地区事務局は今年度から新体制となり、新たな気持ちで役員一同、会員の皆様へ充実した内容をお届けできるよう頑張っていきたいと考えております。何卒ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年度福岡地区事業計画

令和2年度の福岡地区活動計画、および役員は以下の通りです。

令和2年度事業計画

1. 事務局・会議関係

①事務局会議：日臨技本部及び福臨技全体の活動状況を把握し且つ、医療従事者として医療全体の情報収集を図り、地区活動を円滑に行うために年5回の開催とする。②地区理事会：事業方針の執行、会務の適正な運営を図るため年3回の開催を予定する。③技師長・連絡責任者会議：地区事業の周知徹底と会員の活性と協力を求めていく。④検査研究部門会議：各検査研究部門の活動を推進し、卒後教育の充実を図ると共に、会員の活性と育成を目的に年2回開催予定。

2. 事業関係

①新入会員研修会：日臨技や福臨技事業をはじめ、地区活動について新入会員を中心とした研修を行うと共に、現会員との親睦を図り、会への協力、理解そして育成をめざす。②福臨技事業への協力。③他団体主催行事への協力。④福岡市医師会急患センターの急患部会への参画。⑤日本臨床検査技師会連盟への加入推進。

3. 学術関係

①検査研究部門活動の推進：部門別に開催される研修会、講演会が適正かつ健全な運営と活動が行えるよう推進していく。②県主催・他地区主催事業への協力：県、他地区主催事業及び他団体事業への会員の積極的な協力をを行う。

4. 広報関係

①福岡地区ニュースの発行：会の活性化、地区活動の情報源としての役割を確立するため、会の運営状況のみならず、会員からの投稿も積極的に掲載し、内容の充実に努め年2回発行する（8月・12月）。②会誌「ふくおか」への投稿：地区広報コーナー等への地区の紹介及び会員の投稿を積極的に行う。

令和2年度福岡地区役員

役職	氏名	施設名
地区長	新田 誠	済生会二日市病院
運営委員	加藤 康男	福岡赤十字病院
運営委員	大久保 文彦	九州大学病院
運営委員	坂本 徳隆	福岡市民病院
副地区長	緒方 昌倫	九州中央病院
副地区長	森 健一	白十字病院
学術部長	稲子 勝秀	SRL 福岡ラボラトリー
管理部長	佐藤 恭平	済生会二日市病院
財務部長	佐伯 綾子	九州医療センター
公益部長	生田 幹博	福岡大学筑紫病院
学術担当	西田 祐輝	済生会福岡総合病院
学術担当	古賀 萌子	九州中央病院
財務、学術担当	畑田 祐也	済生会二日市病院
公益担当	中村 洸太	九州医療センター
急患部会	植村 彰	福岡市医師会検査センター

◀福岡地区事務局▶

済生会二日市病院内 新田 誠
(にっ た まこと)

Tel. : 092-923-1551 (PHS4740)

Male : m-nitta@saiseikai-futsukaichi.org

学術研究部門紹介

《生物化学分析部門》 石垣 卓也 (九州大学病院)

本年度の生物化学分析部門は分野長：石垣卓也（九州大学病院）、副分野長：津波勇二（白十字病院）・権藤圭（福岡市民病院）・松岡由希子（福岡徳洲会病院）の計4名で担当させていただきます。毎月第2週の木曜日19時から勉強会を予定しておりますが、変更になることがありますので、予定表をご確認ください。勉強会の内容は、基礎から最新のトピックス、日常業務で遭遇する疑問やトラブルの対処法など新人の方からベテランの方まで参加して頂けるような内容にしたいと考えています。多数のご参加お待ちしております。

《臨床生理部門》 早川 彰(福岡山王病院)

臨床生理部門ですが、今年度は部門長を早川彰(福岡山王病院)、副部門長を大谷洋平(九州医療センター)、福本遥佳(九州中央病院)、玉城誠(東医療センター)の4名で運営させていただきます。勉強会は、毎月第三木曜日に行なっておりますが、Web開催となり、開催日が異なることがありますので、福臨技ホームページ等をご確認ください。内容は、心電図や肺機能検査を始め、いろいろな企画を出来たらと考えています。企画してほしい内容などご要望ありましたら気軽にお声掛けください。会員の皆様の多数の参加をお待ちしております。

《病理細胞部門》 坂梨 史典(福岡山王病院)

長らく副部門長として活動して参りましたが、本年度より部門長を拝命し、幸か不幸かタイミングよく新たなスタイルの部門運営に携わる事となりました。第4週木曜日開催のため、これまで「木曜会」の愛称のもと継続してきた勉強会ですが、コロナ禍にあり変革を余儀なくされます。仲正喜(九州大学病院)、西村久子(浜の町病院)、藤本久美子(福岡市医師会臨床検査センター)の3名の新たな副部門長と共に、「今後どうすれば参加者にとって有意義な勉強会へと成長させられるか」を考えていきたいと思っております。不慣れな事も多々あり、病理細胞部門に関わる皆様のお力添えをどうかよろしくお願い致します。

《臨床一般部門》 尾上 由美(白十字病院)

臨床一般部門は、部門長：尾上由美(白十字病院)、副部門長：岩見真人(九州中央病院)、寺脇健太(九州医療センター)の3名で運営いたします。今年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、Zoomを使用したWeb研修会の開催や、顕微鏡写真を用いたフォトテストの実施など、例年と異なる勉強会を計画しています。内容としましては例年通り尿検査を中心に糞便検査、髄液検査、体腔液検査など、さまざまな検査材料について、日常検査に役立つ情報を提供していきたいと考えています。新しい勉強会のスタイルを模索中で不慣れな点もあるかと思っておりますが、たくさんの方のご参加をお待ちしています。

《臨床血液部門》 甲斐 壽弘(福岡赤十字病院)

臨床血液部門は毎月第二水曜日、会場は「九州中央病院外来棟3階 講堂」で開催しています。部門長に甲斐壽弘、副部門長に青柳賢一(済生会福岡総合病院)、佐藤和宗(福岡大学病院)、迫田真明(国立病院機構九州がんセンター)の計4名で運営しています。内容としては血算、凝固検査の基礎から、末梢血液像の診方、骨髓検査から症例まで新人の方からベテランの方まで日頃の業務に活かせるような内容にしていきたいと思っております。しばらくの間はWeb勉強会での開催になるかと思っておりますが、多数のご参加お待ちしております。

《臨床微生物部門》 星 紫織(福岡市医師会臨床検査センター)

臨床微生物部門は、部門長に星紫織(福岡市医師会臨床検査センター)、副部門長に木部泰志(九州大学病院)、結城万紀子(福岡大学病院)、後藤裕一(西福岡病院)の4名で運営していきます。今年度の研修会は2か月に1回、Webオンライン研修会で開催する予定です。今年度は『基本を学ぼう!』をテーマに、各菌属の基礎的な内容を中心に企画しています。この1年間、皆で基礎を固めていきましょう!多数ご参加お待ちしております。

《輸血細胞治療部門》 瀧野 亮太(九州中央病院)

今期の輸血・細胞治療部門は、部門長：瀧野亮太(九州中央病院)、副部門長：西津将巨(済生会福岡総合病院)、虎清夏海(浜の町病院)、蒲原香苗(九州大学病院)の4名で運営いたします。今年は新型コロナウイルスの影響で勉強会の開催が延期されていますがWebでの開催準備を行っております。例年とは異なる開催方法になりますが輸血の基礎から最新の知見まで様々なテーマをご用意できればと考えておりますので是非ご参加ください。また、日常業務での疑問など些細なことでも結構ですので何かございましたら気軽にご相談ください。微力ながら皆様にお力添えできるよう努力いたします。

《臨床検査総合部門》 森 健一(白十字病院)

2020年度の臨床検査総合部門は、森(白十字病院)、井本(福岡大学病院)の2名で運営いたします。今年度は、先の見えないスタートとなりましたが、感染対策に留意し可能な限り活動していきます。内容としては多岐にわたり、医療情報・業務管理・医療安全・品質保証や、日臨技でも重点的に取り組まれている検査説明・採血検体採取・病棟業務など多くの項目が対象となります。開催は不定期となりますが、会員の皆様にお役に立つようなテーマを考えて開催いたしますので、多数のご参加をお待ちしております。また、お手伝いして頂ける方や、ご意見・ご要望などありましたらお気軽にお問い合わせください。

《遺伝子部門》 蒲牟田 靖司(九州医療センター)

今期の遺伝子部門は、九州医療センターの蒲牟田と九州大学病院の松本の2名で運営していきます。遺伝子検査は昨今猛威を振っている新型コロナウイルスPCR検査で注目を集めている感染症分野、造血器腫瘍などの血液分野、更にはがんゲノム医療の分野など幅広く活用されてきています。検査機器や検査方法だけでなく結果の解釈についても年々複雑なものとなってきていますが、遺伝子検査を実施している施設はまだまだ限られているのが現状です。勉強会の開催は不定期ではありますが、遺伝子検査をルーチンとして実施している方々だけではなく、様々な分野の方々のお役に立てるようなテーマを考えて開催したいと思っております。勉強会に関してご意見・ご要望などありましたらお気軽にお問い合わせください。